

骨・軟部腫瘍患者における腫瘍免疫関連タンパクの 発現に関する臨床病理学的検討

近年、がんの分子メカニズムの解明が急速に進み、骨軟部腫瘍の分野でも新規分子標的薬剤が開発、臨床使用されており、症例によっては大きな効果を有することが明らかとなってきました。しかし、永続的な治療効果を得ることは困難な上、多くの有害事象を有することが課題となっています。

一方、近年、腫瘍免疫に関わる大きな発見がなされてきています。がん細胞は免疫を制御する様々なチェックポイントを利用して、免疫細胞に攻撃されないようにしています。これらのチェックポイントを解明することで、その部分に作用する新規薬剤を使用し、様々ながん細胞に対して抗腫瘍効果を発揮することが明らかとなってきました。

しかし、骨軟部肉腫は症例数が少なく、まだまだ解明が不十分な現状となっております。そこで我々は、骨軟部腫瘍患者様の手術時に摘出した腫瘍組織を用いた、臨床病理学的検討を計画しました。これらを解析することにより、肉腫細胞周囲の腫瘍免疫の状態を客観的に把握するとともに、今後出現してくる種々の免疫療法のターゲットとなり得るのかどうかの予測が可能になると考えております。

※ 尚、本研究に関しましては、平成13年7月から平成25年1月27日の間に三重大学医学部附属病院の整形外科にて手術を受けられた患者様で、「採取・切除組織の医学研究への使用に関するご協力のご願いと同意書」に御同意いただき、同意書に記載いただいた患者様も対象とさせていただきます。

上記に該当される患者様で、本研究内容に関するお問い合わせや研究同意の撤回をご希望される場合は、下記までご連絡いただければと存じます。



研究責任者 : 准教授 松峯昭彦

三重大学大学院医学系研究科 臨床医学系講座
運動器外科学・腫瘍集学治療学（整形外科学）
〒514-8507 三重県津市江戸橋2-174
TEL 059-231-5022 (内線6447)
FAX 059-231-5211